

瑞穂市社協だより



社会福祉法人
瑞穂市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

No.107

2021.4(R3)

あい ♥ 愛



＜今月の表紙＞ ～コロナ禍でもつながりづくりを～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、サロンが開催できない中、訪問活動を通してつながりづくりを行っているサロンもあります。

写真は、井場ふれあいサロンのボランティアのかたが、サロン参加者のかたの家を訪問しているようすです。
(関連8ページ)

ボランティア活動に新たなツールを! ～おためしZoom交流会～



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、対面でのボランティア活動がなかなかできない状況が続いています。最近は、活動に必要な研修や会議がオンラインに代わり、全国で行われている研修会なども、気軽に参加できるようになりました。

そこで今回、新しい活動の形を考えたり、前向きにスキルアップをしていただく機会として、Zoom体験会＆交流会を開催しました。

参加者からは、「地域活動でもZoomを使って、情報交換ができるかも」、「集まって健康体操ができないので、高齢者の体力・筋力低下が心配。オンラインを使って体操をしたい」などオンラインを使ってできるアイデアを聞くことができました。

「Zoomの使い方を教えてほしい」というかたは、当会まで気軽にご相談ください。

自分も！相手も！笑顔に!!



マスク越しでも伝わるコミュニケーション方法 ～ボランティアスキルアップ研修会～

マスクの着用により普段の会話の中で、「相手の言葉が聞き取りづらい」、「伝わっているのか分からぬ」ということがあるのではないでしょうか。相手とのコミュニケーションを大切にするボランティア活動では、なおさらです。

そこで、マスク越しでも相手と良い関係を結ぶためのスキルを身に付けていただく機会として、フリーアナウンサーの浅井 彰子氏を講師にお迎えし、研修会を開催しました。



研修会のようす

この研修会では、目の表情を豊かに鍛える「笑み筋体操」や、マスク越しでも聞き取りやすく発音できるよう「笑み声体操」を紹介していただきました。

参加者からは、「マスクをして、相手に伝わるように話すことは難しいと感じた」、「今まで何気なくしていた自己紹介でも、相手に伝えたいという意識（思いやり）が必要であることが分かった」、「発音の基本を知ることができ、今後は意識して活動したい」という声がありました。コロナ禍や、これから活動に向けて、活用できるものがあったのではないでしょうか。



浅井 彰子氏

ボランティア登録者数

※R 3.3.1現在

団体	94団体	1,134名
個人		104名
災害		25名
合計		1,263名

ボランティアに関するご相談等は、
瑞穂市ボランティアセンターへ
(TEL 327-8610)

～私たちも地域福祉活動を応援しています～

SAFETY CULTURE

DNG

安心と安全のネットワーク

大日本警備保障株式会社

大規模ビルシステムから、ホームセキュリティまで
みなさまの安心と安全をお守りします

本 社／瑞穂市本田1044-3
TEL 058-327-5171
URL <http://dainihonkeibi.co.jp/>

頑張っていいます
私たち!!

福祉作業所（多機能型）とは、障害者総合支援法に規定されている主に通所による就労や生活上の支援を行う障がい福祉サービス事業所です。



お楽しみランチを開催しました

外出事業の中止が続く中、みんなが楽しめるようにと、就労の利用者のかたがたが中華ランチづくりに挑戦しました。メニューは麻婆丼、中華風炒め物、シュウマイ、春雨サラダ、黒ゴマプリン、フルーツです。野菜を切ったりする作業はみんな慣っていますが、シュウマイづくりは初めてでした。なかなかうまく包めなくて戦慄ましたが、職員と一緒に一生懸命頑張りました。みんなから「おいしかったよ。」と言ってもらえ、さらに自信がつきました。



シュウマイの餡の計量と包みに奮闘中



はい、出来上がり



継続的に感染症対策を実施しています!!

すみれの家では、登所時とお昼の2回、検温を行い健康チェックを行っています。

マスクやアルコール消毒、作業でも2カ所に分かれて仕事をしたり、間隔を開けて休憩などをするようになって1年が経ちました。新しい環境にも慣れて、笑顔で過ごしています。

今までとは違った1年になりましたが、元気いっぱいお仕事をしています。

かきりんキャラクターのプリント商品や、お菓子の注文をお待ちしています！



手指消毒にも慣れました



休憩時の様子

豊住園、すみれの家では、様々な商品を作り販売しています。販売商品の詳細につきましては、当会の公式ホームページ (<https://www.mizuho-shakyo.org>) にカタログを掲載しておりますので、ご覧いただぐか、各作業所までお問い合わせください。

瑞穂市社協

こちらから
カタログが
見られます→

地域に広がる支え合い活動

～令和2年度の取り組み～

当市では、市全域と各小学校区において、支え合いのまちづくりを進めています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、活動方法に制限がある中でも、住民のかたと話し合いを行いながら、地域の特性や状況に応じた活動を行ってきました。

今回は、令和2年度のそれぞれの取り組みを紹介します。



瑞穂市マスコット
キャラクター
かさりん

市全域

～誰もが安心して外出できるまちを目指して～

市全域を対象とした地域支え合い推進会議（第1層協議体）において、外出に困りごとを抱えたかたの外出支援対策を検討しており、今年度、その課題解決に向けた協議を予定していました。新型コロナウイルス感染症拡大防止による協議や事業開催の制限がある中で、外出支援対策のヒントを得ることを目的に、講演会を企画しました。2月20日に「免許返納後の生活を考える」講演会として、オンライン視聴で開催しました。講師としてNPO法人全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎 民子氏より、住民主体で行われている全国の実施事例を中心に講演をいただきました。地域のかたがマイカーで支援するかたたち、社会福祉法人の「公益的な取組み」と地域が連携し施設の空車を利用するかたたち、生活支援サービスの中に外出支援を組み合わせるかたなどなどを学びました。参加者のかたからは、自治会など比較的狭い範囲で行われている事例もあることから、「市内でも出来そうだ」という感想もいただきました。この講演会をヒントに、免許を返納しても安心して外出できるような助け合いの仕組みを、これから皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



講演会のようす

生津

～地域を知り、つながることからはじめよう～

生津自治会連合会を中心に、支え合いのまちづくりを推進しています。

今年度は、「防災・減災」の視点で支え合いのまちづくりを考えようということで、12月6日の避難所確認訓練において、講演を行いました。

過去の大規模災害の教訓から、「自助」と「共助」を充実させ地域防災力を高めておくことが、被害を最小限に抑え早期の復旧・復興につながることが分かっています。「共助」を活性化させるためには、日ごろからのご近所のつながりや、お互い様の心が育っていることが必要です。

そんな中、「同じ校区でも、隣の地区がどんな活動をしているか知らないね」、「同じ地区内の会議で顔を合わせても、議題以外の情報交換をすることってないね」という気付きから、まずは、地域の活動者同士が生津のことを自由に話せる場を作ろうということで、「生津校区つながりづくり交流会」を計画しました。緊急事態宣言の発令により、残念ながら延期となりましたが、今後交流会を重ねる中で、より地域のことを知り、活動者同士がつながることから、支え合いの輪が広がっていくのではないでしょうか。



講演のようす

～お互いを知り、新たなつながりをつくろう～

本田校区自治連合会を中心に、支え合いのまちづくりを推進しています。

今年度は、住民意識調査と福祉施設のネットワークづくりを中心に実施しました。

住民意識調査については、参加したいまちづくり活動、将来の理想のまちなどに関するアンケート用紙を作成し、全戸配布等にて実施しました。アンケートから「将来の移動手段が不安」、「安心して子育てできる環境が欲しい」、「昔のようなふれ合いのあるまちにしたい」など幅広い年齢層からご意見をいただきました。アドバイザーである朝日大学大学院経営学研究科 畦地 真太郎教授に専門的な見地から結果の分析をお願いし、その結果を基に校区の皆さんのがニーズに合致したまちづくり活動を開展していきたいと考えています。

福祉施設ネットワークづくりについては、11施設にご協力いただき、本田にとって必要な福祉のありかたについて意見交換を行いました。また、施設紹介パンフレットを作成し、住民の皆さんに周知していくとともに、会議を定期開催し、まずは施設・利用者同士の交流から始めていけたらと考えています。本田校区の福祉施設には、様々な強みがあります。地域で求められるニーズと合致すれば、より住民の皆さんとの距離を縮め、一緒に住みやすいまちづくりができるのではないかでしょうか。

まだスタートを切ったばかりですが、アンケートから見えてくる住民のかたの思いを尊重しながら、福祉施設と一緒に地域の新たなつながりをつくりていけるよう、取り組んでいきます。



連絡会議のようす

～連携して支え合いの地域づくりに取り組む～

穂積校区の住民で構成するわくわく活動委員会福祉小委員会を中心に、「誰もが安心して暮らせる地域」を目指し、日々取り組んでいます。

年度初めは自粛期間を活用し、地域の拠点となっている公民館の有無や活用状況について調査をするために、自治会長さんにご協力いただき、「公民館に関するアンケート」を実施しました。アンケート結果から、区域を越えての利用可能な地域があることや、公民館の活用内容などが把握でき、今後、地域の皆さんのが気軽に集まれる場づくりや、地域同士の連携などに活用していきます。

また、昨年度から引き続き「子どもの見守り活動推進」について協議を行いました。秋には自治会長さんにご協力いただき、「登校時の子どもの見守り活動」について、自治会単位等で懇談会を開催しました。「自分たちの地域を自分たちで見守ることができるか」を地域の皆さんで話し合っていただき、人手が足りない場所の報告もあったため、今後はボランティアの募集を行っていく予定です。

今年度は、自治会長さんをはじめ、見守りボランティアの皆さんや小学校などにご協力いただき、地域の情報を集めました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。集めた情報を基に、支え合いの地域づくりに取り組んでいきたいと思います。



見守り関係者を交えての座談会のようす

～地区社協の設立に向けて～

平成30年度より、自治会連合会に福祉部会を設立し、地域の福祉課題や住民のかたによる支え合いについて、話し合いを行ってきました。

過去2年間の活動を通して、話し合いばかりでなく、実際に地域福祉活動を行う組織を立ち上げたいということになり、「地区社協（※）の設立」を目指すこととなりました。令和2年9月より「地区社協設立準備委員会」を立ち上げ、話し合いを進めています。

準備委員会で話し合いを行う中で、「地区社協の活動には、地域で活動しているボランティアさんの協力が欠かせない。まずは、ボランティアさんに地区社協を知ってもらい、思いを聞いてみよう」ということとなり、ボランティアさんを対象とした説明会を12月に実施しました。説明会では、「人と人が会う、話し合うことが大切で、出会う場所を作ることを大切にしてほしい」、「ふれ合う場所を作りたい。地区社協のネットワークを活かし、皆さんが活躍できる場をつくることができたらと思う」、「子どもたちは将来の人才であり、地域に貢献できるようになってほしい。住んでいる地域で、生きた学びをしてほしい」、「小中学生とのつながりをどうしていけば良いのか、苦心している。参加を得るためにには、子どもの頃からの体験が必要である」などの意見が出ました。活発な意見交換が行われ、地区社協への要望なども聞かせていただき、良い機会となりました。

住民の皆さんを対象とした説明会を1月に予定しておりましたが、緊急事態宣言の発令により、延期することとなりました。改めて日程を調整し、周知させていただきますので、その際はぜひご参加ください。

※地区社協とは

「地域福祉」（地域に暮らす人の困りごとや問題を、その地域全体の福祉課題ととらえ、解決しようとしていく取組み）を推進することを目的に、地域住民等で組織された任意の団体です。より住民生活に近いところで同じ住民として、地域の困りごとの解決に取り組むネットワーク組織です。



説明会のようす

～地域の強みを活かして笑顔あふれるまちづくりを～

西校区地域支え合い推進会議設置に向けて

西校区では、令和3年4月より地域支え合い推進会議を開始するために、自治会長さんや民生委員・児童委員さんが準備をされています。支え合い推進会議は、住民の皆さんによる「わいわいがやがやの会議」です。地域の課題や地域のお宝などの情報を共有し、意見を出し合いながら、支え合いの地域づくりを進めるための取り組みです。それには、住民の皆さんからの情報がとても大切なものです。西校区の皆さん、「誰もがいつまでも安心して暮らせる地域づくり」と一緒に進めましょう。

巣南地区担当のつぶやき

巣南地区は住民さん同士の結びつきが強い地域です。昨年度は、西校区・中校区の自治会さんが、コロナ禍でも小学校の皆さんたちに安心して学習に取り組んでもらえるよう、学習支援活動を始められています。また、中小学校の皆さんには、地域のご高齢のかたがたを思い、おひとり暮らしのご高齢のかたへの訪問活動を実践されました。このほか、地域の中のあちらこちらで、自然な助け合いが展開されていることと思います。地域支え合い推進会議はまだ設置されていませんが、「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」は、着実に進められていると言えるかもしれません。

支え合いの地域づくりの取り組みは、「現在」のみならず「未来」を見据えた取り組みです。そして、それは高齢者だけのお話ではありません。10年後、20年後、社会の変化に伴い様々な課題が顕在化していくことでしょう。そのような状況下においても、皆さん自身や皆さん周りの人たちが笑顔で暮らし続けられる地域であるよう、一緒に考えてみませんか。

巣南地区の皆さんに地区担当からのお願い

地域の課題や地域の資源、そして「こんな地域活動をしてみたい」といったお話、その他何でも構いませんのでお知らせください。よろしくお願いします。



地域包括支援センターだより

瑞穂市別府1283番地（総合センター1階）TEL 327-4118

高齢者の
「よろず
相談窓口」

瑞穂市地域包括支援センター 出張相談所

地域包括支援センターは、高齢者の身近な「よろず相談窓口」です。

「最近、足腰が弱くなった」「だんだんと物忘れが多くなってきた」「介護保険サービスを利用したいけど、どうすればいい？」などお困りごとはないですか？

地域包括支援センターの職員が、月2回老人福祉センターに出張します。お気軽にご相談ください。



会 場	老人福祉センター 住所：瑞穂市田之上597番地						
開催日	第2・4月曜日 ※祝日の場合は、翌日に変更						
時 間	9時30分～11時30分（予約不要 先着3名まで）						
令和3年	4月	12日（月）	26日（月）	令和3年	10月	11日（月）	25日（月）
	5月	10日（月）	24日（月）		11月	8日（月）	22日（月）
	6月	14日（月）	28日（月）		12月	13日（月）	27日（月）
	7月	12日（月）	26日（月）	令和4年	1月	11日（火）	24日（月）
	8月	10日（火）	23日（月）		2月	14日（月）	28日（月）
	9月	13日（月）	27日（月）		3月	14日（月）	28日（月）

【お問い合わせ先】

瑞穂市地域包括支援センター TEL 327-4118



瑞穂市マスコットキャラクター
かきりん

令和3年度 市民のための認知症勉強会 認知症サポーター養成講座開催のお知らせ

○会 場：瑞穂市総合センター 1階 地域福祉ルーム

○開催日：5月22日（土）

○時 間：13時30分～15時（受付：13時15分～）

※事前予約制となっております。地域包括支援センター（TEL 327-4118）に5月14日（金）までにお問い合わせください。

当日は、感染症拡大防止対策を講じて実施します。自宅での検温、マスクの着用にご協力ください。
2週間以内に発熱（37.0度以上）、風邪・味覚障害など自覚症状があるかたは、参加をお控えください。



認知症について正しく理解し、
認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者になりませんか？
ぜひご参加ください。

ふくし “ホッと” ニュース

ふれあい・いきいきサロン研修会～コロナ禍でもつながりを～

2月15日に、ふれあい・いきいきサロン研修会を、参加人数を制限させていただき、新型コロナウイルス感染症対策を行なながら開催しました。研修会では、「地区社会福祉協議会について～これからの支え合いの地域づくり～」のお話と、「サロン活動事例紹介」をさせていただきました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ふれあい・いきいきサロンの活動が難しくなりました。いつものサロンは難しくても、なんとかつながり続けたい。「サロン活動事例紹介」では、他県の活動事例の他、研修会に参加いただいたサロンの皆さんにもお話を伺いました。

今回は、市内のふれあい・いきいきサロンがコロナ禍でつながるために取り組まれた事例をご紹介します。



研修会のようす

◆「お元気ですか？」のひとことが嬉しい訪問活動 季節の小物やお菓子にメッセージを添えて、サロン参加者のかたを訪問されました。また、啓発チラシや簡単な体操のチラシなどを手作りして配布も。玄関先での短い会話にもほっこり心が温まりますね。また、感染状況により、電話の活用やポストインで対応された事例もありました。これらの活動は複数のサロンさんが実施してくださったようです。

◆おなかは無理でも心は満たされます カフェ形式のサロンさんは、パンやコーヒーの提供をやめ、感染症対策を徹底しての開催。メンバーをグループ分けして1回の参加人数を減らし、かわりに実施回数を増やすという工夫をされたサロンさんもありました。

◆みんなの顔を見るだけでも嬉しい 寄せ植えや体操など屋外でソーシャルディスタンスを保ちながらの活動を実施されたサロンさんや、ぬり絵等、感染リスクの低いプログラムを短時間で実施されたサロンさんもありました。短時間でも仲間の顔を見るだけで、ほっとしますね。

感染状況をみながらの臨機応変な対応、感染症対策、健康管理等、コロナ禍での活動は容易なことではありません。ご尽力ありがとうございます。サロン活動が普通にできる、そんな日常に早く戻れることを切に願います。

福祉車両を貸し出します！

車椅子のままで乗ることができるリフト付きの車を貸し出します。通院や外出に、ぜひご利用ください。

誰でも借りられるの？

市内在住で、一般の車両では外出が困難な障がいのあるかたや、高齢のかたなどがご利用いただけます。

リクライニング車椅子を乗せることができる？

リクライニング車椅子の大きさにもよりますが、1台乗せることができます。



※車両は普通自動車「トヨタ シエンタ」です。

旅行にも利用できるの？

利用範囲は、市内および近隣市町村です。
当日の17時までに、返却可能な範囲での利用となります。

利用料はいくら？

走行距離が50km未満であれば、利用料（燃料費）は無料です。

すぐに借りられるの？

利用には、登録が必要です。あらかじめご登録の上、利用前日までに予約をしてください。

いつでも借りられるの？

利用日時は、平日（土・日・祝と年末年始は除く）の9時から17時までです。

※詳しくは、当会までお問い合わせください。

瑞穂市別府1283番地 総合センター1階 TEL 327-8610/FAX 327-5323
メール chiiki@mizuho-shakyo.org

メールは
こちらから→



当事業は、皆さまからいただいてあります社会福祉協議会費により実施しています。

瑞穂市社会福祉協議会会長表彰状・感謝状贈呈

多年にわたり社会福祉協議会の発展に功労のあったかたの表彰が行われました。

次のかたが受賞されました。おめでとうございます。（50音順・敬称略）

◆瑞穂市社会福祉協議会会長表彰

1. 社会福祉協議会役員

奥田 尚道 梶浦 良子 山本 訓男

2. 社会福祉施設職員

石金 大介 今井 恵子 川瀬 勢津子 近藤 ちか子
玉城 栄之功 馬淵 勇 山元 優 吉田 くるみ

3. 民生委員児童委員

小川 昭子 菅野 美智子 関谷 充

4. 福祉団体等役職員

石原 一弘 宇野 元正 加藤 正義 久保田 清男
廣瀬 弘夫 藤橋 政治 吉田 勝郎 渡邊 敏彦



表彰されたかたがた

◆瑞穂市社会福祉協議会会長感謝

1. 奉仕活動・ボランティア活動

<団体>

牛牧団地ふれあいボランティア
じゅんpei
ふれあいサロン・馬場
柳一色ふれあいサロン

下唐栗ふれあいサロン

馬場東いきいきサロン

みずほ生き活きセンターくつろぎ隊

呂久買物事業ボランティア

<個人>

新井 住夫 因幡 良介 菊島 誠 下村 早百合
廣瀬 秋雄 堀 きみ子 堀 きみ子 前田 久美子
松井 繁子 山北 典子 和田 都

※同姓同名のかたがたがみえます



表彰されたかたがた

2. 現金等の高額寄付

<団体>

小塚メタル株式会社 高田 敏雄

◆多年にわたる奉仕活動・ボランティア活動

ボランティアほづみ

心温まるご寄附をありがとうございます（順不同・敬称略）

善意のご寄附

匿名（令和2年12月25日）	50,000円
Man to Man Passo株	5,000円
匿名（令和3年2月5日）	30,000円
㈲森田組	500,000円
匿名（令和2年12月18日）	お茶2袋
匿名（令和2年12月22日）	米10kg
匿名（令和2年12月24日）	餅32個、米10kg、菓子27点
匿名（令和3年1月8日）	餅32個、菓子10点
㈲つちや	バナナ400本、ヨーグルト70個
匿名（令和3年1月25日）	ピアニカ一式
㈱ジェーシーサービス水田様	ラジカセ1台、掃除機1台 海苔17袋、菓子15点 レトルトカレー4袋 菓子6点
匿名（令和3年2月16日）	（令和2年12月18日～令和3年2月25日）
穂南自治会一同	
三島 菜美	



㈲森田組による寄附贈呈のようす

令和2年度社会福祉協議会費に ご協力ありがとうございました。

一般会費 239世帯 239口 239,000円
(令和3年2月26日)

赤い羽根共同募金運動に ご協力ありがとうございました。

㈲篠田電気工事 9,000円
自治会 336世帯 336口 201,600円
(令和2年12月28日～令和3年2月26日)

募集・お知らせ

インフォメーション

～ Information ～

申込み・お問い合わせ先
瑞穂市社会福祉協議会
TEL 327-8610/FAX 327-5323
メール chiiki@mizuho-shakyo.org

メールはこちら↓



あい♥愛マーケットのおしらせ

あい♥愛マーケットとは?

福祉作業所豊住園、福祉作業所すみれの家の“手作り製品”を販売しています。

(※ボランティアほづみの販売は、令和2年度末で終了しました。)

開催場所 瑞穂市総合センター 1階 ロビー

開催時間 12時30分～14時

福祉作業所豊住園▶
かきりんクッキー



他にも手作り商品
があります。
皆さん、来てくださいね。



瑞穂市マスコットキャラクター
かきりん



◀ 福祉作業所すみれの家
パウンドケーキ
(ココア・抹茶・紅茶・
季節限定ハニーレモン)

令和3年度 開催予定日

[基本第2・4木曜日]

4月	8日	22日
5月	13日	27日
6月	10日	24日
7月	8日	お休み
8月	お休み	26日
9月	9日	お休み
10月	14日	28日
11月	11日	25日
12月	9日	お休み
1月	13日	27日
2月	お休み	24日
3月	10日	24日

(令和3年2月現在)

都合により変更になる場合が
あります。市の広報カレンダ
ーでご確認ください。

当事業は、皆さまからいただいてあります社会福祉協議会費により実施します。



ホリパパサロン参加者募集

参加費
不要

「ホリデーパパサロン」の略称です。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できませんでしたが、今年度より、感染症対策を行いながら実施します。お休みの日に、お子さんと一緒に遊ぶ時間をつくってみませんか？

- ▼内 容 元気いっぱい！親子ふれあい遊び
- ▼講 師 岐阜県リクリエーション協会
副会長 小原 信子氏
- ▼日 時 5月8日（土）
10時30分～11時30分
(受付は10時～)
- ▼会 場 牛牧北部防災コミュニティセンター
集会室（十九条413-1）

当事業は、赤い羽根共同募金の配分金により実施します。

- ▼対 象 市内在住の0歳～3歳11ヶ月まで
のお子さんとお父さん
(お母さん、祖父母の参加も可)

- ▼定 員 10組の親子（先着順）

- ▼締 切 4月23日（金）

- ▼当日の連絡先 080-6923-6501

※乳児や4歳以上のご兄弟の参加も可能ですが、託児は実施しません。

※講座前後の自由遊びと、講座後のおやつタイムは実施しません。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当会でも様々な事業が中止、又は延期となつてあります。

今後の予定については、当会の公式ホームページ「瑞穂市社協」(<http://www.mizuho-shakyo.org>)をご覧いただぐか、当会までお問い合わせください。

ホームページはこちら↓



瑞穂市社協



地球に優しい植物油を使用した
インキで印刷されています。

2021(令和3年)4月号 あい♥愛

10